

彦根市の将来人口について（彦根市総合計画 基本構想 2022-2033）

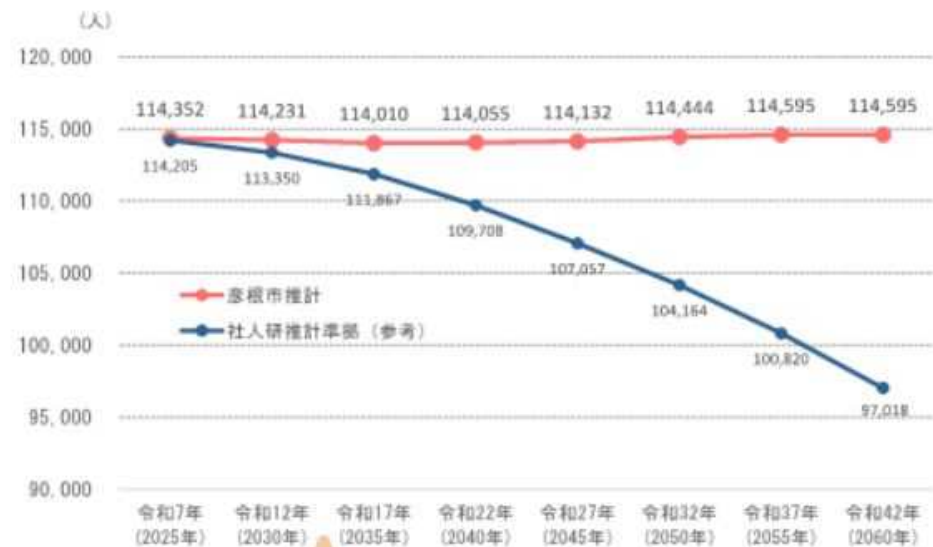
将来人口

本市においては、若い世代が出て行かずに、さらに移り住んでもらえるまちをめざし、本計画に基づいて各政策・施策に全力で取り組んでいくことで、人口の増加を図ることをめざします。このため「第2期彦根市まち・ひと・しごと創生総合戦略 人口ビジョン」のモデルを用いて、新たな人口推計を行いました。

この推計に基づき、総合計画の目標年次である令和15年(2033年)における総人口を概ね114,000人とします。

世帯数については、これまでの実績から推計すると、今後も世帯人員が減少し、世帯数が増加する傾向と見込まれるため、概ね49,000世帯とします。

人口の将来展望



また、年齢別人口構成については、今後も高齢化が進行し、令和15年(2033年)では75歳以上が16.5%、65～74歳が11.7%になり、65歳以上の高齢者人口が28.2%になると見込まれます。一方、15～64歳の生産年齢人口は58.8%になると見込まれます。

年齢別人口構成



○推計の算出に関して

- ・令和15年(2033年)の人口は推計に基づき1年刻みの補間推計により算出
- ・令和15年(2033年)の世帯数は、平成7年(1995年)から平成27年(2015年)の国勢調査結果を用いてトレンド推計※で将来の世帯人員を算出し、人口を除いて算出
- ・令和15年(2033年)の年齢別人口は推計の年齢層別推計に基づき1年刻みの補間推計により算出

※トレンド推計

時間の経過に従って変化する現象を、一定の規則性を持つ傾向線として近似的に一次関数、指数関数などによってモデル化し、これを延長することにより、将来の一定期間内における変化の状態を数量的に把握する予測手法。